

今年の夏は猛暑予報!! 暑熱対策の点検を

今年の夏の予報?

◆気象庁の3か月(7~9月)予報によると、日本付近は暖かい空気に覆われやすいため気温が平年より高い見込みです。特に梅雨明け後は厳しい暑さとなる日が多いため、熱中症に警戒が必要です。



今年も豚には過酷な夏!

◆繁殖雌豚の最適温度は、10~25℃、肥育豚は16~24℃で、**限界温度は27℃**とされています。それ以上になると飼料摂取量の減少、発育停滞、繁殖成績が悪化します。

暑熱対策は?

- ◆豚舎の風の流れを良く (通路などを片付けて、換気の効率アップ)
- ◆日射熱を遮断 (よしず、寒冷紗、グリーンカーテンの利用など)
- ◆新鮮な給水を確保 (給水設備の点検・清掃など)
- ◆密飼いの防止 (目安: 1坪あたり、肉豚なら4頭、母豚なら3頭以内)
- ◆毎日の豚の観察 (食欲、呼吸の状態など、こまめにチェック)
- ◆夏向けの飼料給与 (涼しい時間帯、頻回給与、消化の良いもの、ビタミン添加等)



熱射病かなと思ったら..!

◆気温の高い日に口を開けて速い呼吸をし、ぐったりしていたら熱射病かもしれません。すぐに獣医師に連絡し、下記の応急処置を行う。

- ①頭部や全身に水をかける。
- ②十分に水を飲ませる。
- ③扇風機で風を当てる。



台風、豪雨に備えましょう!

- ◆畜産施設は、事前に損傷、倒壊等を避けるため、必要に応じて補修を行う。
- ◆畜産施設への浸水を避けるため、明渠の施工等により排水対策を行う。
- ◆停電や断水等の対応を確認し、被災時には自家発電機等により対応できるよう努める。

* 豚の異常や畜産施設に災害があったら直ちに当所まで連絡してください。

京都府南丹家畜保健衛生所

南丹市八木町木原北東庄18 TEL:0771-42-3308 FAX:0771-42-5117